

日本映画上映会の御案内

2014年4月29日

2012年より、在南アフリカ共和国日本大使館と日本研究センターは、日本文化の更なる発信を目的とし、日本研究センターが設置されているプレトリア大学ビジネススクール(Gordon Institute of Business Science)において、定期的に日本映画上映会を実施しております。

その第13回目として、6月21日(土)午後2時より、「ハッピーフライト」を上映することと致します。上映作品は日本語音声・英語字幕です。入場は無料です(4. 無料チケットについて参照)。

なお、会場ではDVDを校内の視聴覚機材を使用してスクリーンに映し出す方式を採用するため、一般の商業映画館での映画上映とは雰囲気が異なりますことを御了承ください。

1. 日時

6月21日(土) 午後2時

2. 会場

プレトリア大学ビジネススクール

(Gordon Institute of Business Science ; 26 Melville Road, Illovo, Johannesburg)

3. 上映作品(日本語音声・英語字幕)

ハッピーフライト(2008年、103分、製作会社: フジテレビジョン、アルタミラピクチャーズ、東宝、電通)

監督: 矢口史靖

出演: 田辺誠一、時任三郎、綾瀬はるか ほか

物語:『ウォーターボーイズ』や『スウィングガールズ』などのヒットメーカー、矢口史靖監督が、飛行機の運行に関わる多様な職種に就く人々を登場させ、この作品でも得意のエンターテインメント群像劇を展開。パニック映画など従来の航空映画の範疇に収まらない作品に仕上がった。

物語の主な舞台になるのは、日本からホノルルに向けて旅立つ1980便の機内。副操縦士、鈴木和博(田辺誠一)にとって、このフライトが機長に昇格するための最終試験となり、新人キャビン・アテンダント、斉藤悦子(綾瀬はるか)にとっては記念すべき国際線デビュー。しかし離陸直後に鳥に衝突されたことに由来する機体トラブルから、飛行機はやむなく日本に引き返すことに。鈴木らを待ち受ける最後の難関となった、台風の接近に伴う困難な着陸も地上から指示を出すオペレーション・コントロール・センターらの協力で何とか克服、若い航空関係者を成長させるほろ苦くも充実したフライトとなった。



(c)2008 FUJITELEVISION / ALTAMIRA PICTURES / TOHO / DENTSU

4. チケットについて

入場は無料ですが、席に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

チケットの申し込みは、4月29日(火)より日本大使館広報文化センターの e-mail アドレス (info@pr.mofa.go.jp) で受け付けます。チケットはお一人様4枚まで申し込み可能です。申し込み締切は6月9日(月)とさせていただきます。

5. お問い合わせ先

在南アフリカ日本大使館 文化班 西島

TEL: 012-452-1500 FAX: 012-460-3880

Email: shota.nishijima@mofa.go.jp